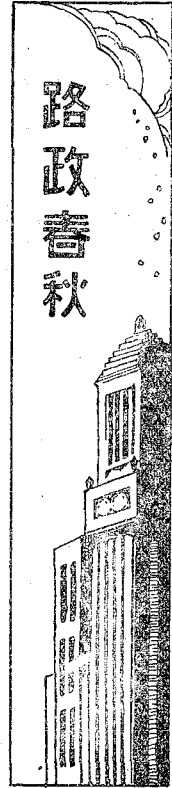


路政春秋



自動車道は何處まで 伸びるか

曩年獨逸では巨額の資を投じて大自動車路を建設した、滿洲でも自動車道路は非常の價值ある設備である。伊太利も貧しき財政にも拘らず頻りに自動車道路の建設に力癩をいれて居る。中華民國でも所謂南船北馬といふ地勢柄であることから蒋介石時代には北支地方に自動車道路の建設に努めたものだが北支新政權も矢張り道路の建設に力を傾けておるが北米合衆國でも思ひ切つた自動車道路を建設中である。即ちカナデアアン・ロツキ一山脈の世界一壯大な山

地帯に明一九三九年中に自動車路が開通する事となつた。この中ベンフからジャスパイまで四千六百呎の高度の道路百哩は多數の壯大な氷河の眺められる廣袤たる氷原を通るのでその雄大な風景は通行者を魅了することだらうと期待されてゐる。この自動車路工事は數年前から著手され現在南北二方面から工事が進捗中だが道路の最高點はパウ頂上の六千七百八十五呎、この難工事のために土木工事に關する最高技術が驅使されてゐる。しかし何分僻遠の土地のこととして工事には一切機械を使用せず鶴嘴やシヤベルを用ひるので高地に於ける過激労働のため當初は労働者中に病人續出の有様だ

注
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に渡らざる限り奇想天外的の奇稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

つたがのち採用の際身體検査を實行することにしたのでこれを減少させることが出来たと言ふ。といふ状態だ自動車道は何處まで伸びるか？

驚くべき世界的大事 件は？

獨逸が壤國を事もなげに併合した、血も流さず肉も裂かれずして速行された事件は歐洲の國際間に一大センセーションを投げかけた、スペインの内亂から思想戦は益々激しく多分フランコ方の勝利に歸するであらうが昨年中に新聞紙を賑はした大事件と見られる事件を擧ぐれば日支事件を第一と

して次ぎ次に左の九件が起つた。一、英帝戴冠式△二、航空船ヒンデンブルグ號爆發△三、ウインザー公夫妻の結婚△四、米國の坐り込み罷業△五、大ロックフェラー翁の死去△六、米國オハイオ河の洪水△七、ドナルトバツデ米國運動界の第一位となる△八、ルーズヴェルト大統領重任△九、スペインのフランコ軍のサンタデル占領、起れば起るものである。

舉國一致を疵付ける

ものは誰ぞ

憲法上その他種々の角度から研究を要する總動員法案に關しての委員會に於て近衛首相は「國民の協力を必要とするのであります。眞に國民が總動員法案を理解しなければ完全な運用は出来ないであります。が故に眞に論議をなさることは國民をしてこの法案に對して眞の理解認識を深める上に極めて有効であらうと考へます」と衆議

院議員の論議に對し敬意と感謝の意を披瀝し虚心悵懐に心情を吐露し所見を明瞭ならしめた態度と心構はさすがに先代篤磨公のおもかげを髣髴せしむるものがあつた、硬化した委員會も朗かな雰圍氣がただよう様になつた、然るに世の中には親の心、子知らずと見るべきか「總動員法案反對者は現狀維持の走狗なり」とか「總動員法案に反對する亡國的既成政黨を解消せよ」とかと高唱し政黨政派に無關係な而かも統後の護りに没頭してひたすらに戦勝を祈りつゝある我等には甚だ不快を感じしむる行動に出づるものがある衆議院議員が故意に又は惡意を以て故らに諸法案に反對し或は既成政黨員が正當なる國策を阻止せんとするが如きことあらば我等國民は解散も解消も絶叫してやまざるものである。徒らに激越、奇矯なる文句を公表して冷靜なる國民を煽動するが如き行動は之れぞ舉國一致を疵つけるものではなからうか非か總動員法案のみでな

く總ての議案に對しても慎重審議公正の心構を以て十二分に論議を盡さしむることこそ憲法奉遵の途であると確信する。(右西)

文章の型破り少からず

虎の門省報告課の野村主任は皮肉屋、毒舌家を以て自から任じて居る有名な人だ、日々各地方廳から受付ける公文書中型破りなもの、劣拙極まるもの、難解なもの、文藝氣取りなもの等々を騰寫保存し大部な冊子とし座右に愛藏して居たが震災で煙滅させ残念がつてゐる、是等を氣の詰つた折節、譏讀すれば小説以上に盡きぬ興味があるし且は自戒にもなると語つた。流石皮肉屋丈けの事があるなど敬服した。我輩も皮肉屋では人後に落ちぬ一人だから以來公文書に止まらず一般的に就て注意すると、あるは、だがその悉くの公開は茲では避け最近の一例を紹介する。ある局の一雇員が死亡したその告別式の案内狀に「御療養其

の効あらせられず」の一語が見へた、あらせられずと云ふ用語は最高の敬稱らしく考へられる。無位無官の一雇員に使用すべきものでないと思ふ。併し死して餘榮ありとその雇員の爲めに我輩は喜んだ、之に附隨して一言したいことは喪中と云ふことを天下の人間が悉く誤解してゐるやうに思れるので注意の爲め述べて置きたい、諸君の御自戒の爲めにも……現在行はれてゐる服忌令は明治七年太政官布告に基くもので、之に依れば最も重きを爲す實父母でさへ忌五十日、服十三月であり以下親疎に依つて等差があるが「喪中に付年末年始缺禮」の葉書に接する毎に注意すると近親者が死亡すれば當然缺禮すると單純に考へるものらしい、中には幼兒の死に對し喪中だと感張つてゐるのだからやり切れぬ、服忌令には七歳以下の死者に付ては服忌なしなのだ、各自が注意すれば喪中か夢中かの人間が世の中にはウヨウヨゐるのである。(毒舌山人)

あるかなきかの珍聞

奇譚 (13)

魚に色の識別を教へる。一體魚に色彩を識別し得る力があるか、ないかに就いては現今諸説紛々の有様であるが、米國での實驗の結果魚も正確に色を識別し得るといふ事が發見された。實驗の對象となつたのは「すゞき」であるが、すゞきは勿論人眼の様な力はないにしろ人間が黄色のライルターを付けて諸々の色彩を識別する位の力は有つてゐるといふ事である先づ普通の動物を訓練する様に沼澤にすゞきの幼魚を放ちそして色の識別にうまく成功したら御褒美にぼうふらや他の蟲をやつて可愛がり間違つたら電撃を送つて罰するといふ工合に賞罰を以て訓練したのであるが、訓練すると一萬四千回に及んで次の結論が生じた。即ち赤色と黄色と綠色と藍色との區別には五回から十回の訓練で充分であつた然し色

彩にそう區別がない場合には仲々手間取るが、バラ色と赤色とを區別し、赤から黒に至る色々の配合色を識別するに至つた。即ち黄色と綠色とは區別するものゝその差異は曖昧らしく、薄黄色は白色と薄灰色と混同し易く、又灰色は黒灰色及び黒色、紫色は赤色と同じに見えるらしいといふ。兎も角色彩の區別に訓練づけられた「すゞき」はそれを少くとも數週間長ければ數ヶ月間ちやんと覚えてゐる。

禮節尙ぶべし

禮節を守るは人の道である。人にして禮を知らざるは禽獸に近し、とは小學校時代に教へられた格言と覺える。外務省の守衛は出入の者に對し一々舉手して禮するので出入者も亦必ず脱帽、又は舉手を以て答へる、見るからゆかしさがこみ上げて来る。人が禮するも知らぬ顔の半兵衛やソツポ向きの態度はどんなにいまゝしいことであらう、禮節尙ぶべしである。(代書生)